

第5回 認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会 開催結果概要

1. 開催日時

令和2年1月12日（日曜日）13時00分から17時00分（12時15分開場）

2. 会場

ピアザ淡海 大会議室、ホワイエ（大津市におの浜 1-1-20）

3. 内容

- ・ 開会あいさつ（由布副知事、県医師会理事、大会長）、アイスブレイク
- ・ ポスター発表（第1部から第3部）
発表内容をポスターにまとめて会場内に掲示・発表（28演題）
ポスター掲示に加え、会場内を2か所に分け、各座長のもと1演題につき10分でポスター内容を発表
- ・ 大会長賞・話題賞の受賞式

4. 参加者 約164名

医療分野から、医師、看護師、訪問看護師、保健師、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー等、介護分野からは、介護福祉士、介護支援専門員、機能訓練指導員、生活相談員、施設長・管理者、その他にも警察職員、社会福祉士、家族の会、ボランティア、行政職、事務職等の多職種・多分野から参加

5. 発表者 28名

県内から公募した、病院、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、デイサービス、通所介護事業所、地域密着型通所介護事業所、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、家族の会、成年後見支援センター、警察、ボランティア団体、認知症介護指導者ネット等の多職種・多分野の皆様から、実践事例や研究等を発表。

6. 参加者アンケート結果の意見から

- ・ 排泄支援について、直接発表者の方からアドバイスを受けることができ、たいへん参考になりました。
- ・ デイの利用が中々進まない方もおられ、そのことを根気よく、何が原因なのかを聞き取り徐々に改善していくことでデイの利用や入浴が行えたことなど参考になりました。
- ・ 日常、現場の中でケアや対応について、共通して悩む事があり、大変参考になりました。いろいろなご意見が伺えて良かったです。
- ・ 口腔機能に関すること、排泄の支援など本人の自立に向けた支援が行われていることを知り、心強く思った。
- ・ 認知症に対する対応(問題提起の方法、フィードバックも含めて)について、第一回に比べ、皆様方大きく進歩しておられ、大変勉強になりました。

7. 発表者アンケート結果の意見から

- ・ 症例をふりかえりまとめることで、今後の課題についても明確化できたと思います。

- ・ 自分自身の役割を再確認することができました。
- ・ 日頃から見近にみられる様々な問題・課題へのヒントが沢山見つかった。
- ・ 自身の取り組みを改めて客観的に取り組むことができ、今後の取り組みに生かすことができた。